

科目分類	養護教諭課程			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14018	4	後期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	教職実践演習 (養護教諭) (Seminar of Educational Practice)				
担当教員名	鈴木 みゆき				
授業の概要及び到達目標					
<p>概要</p> <p>養護教諭の役割、対人関係やコミュニケーション能力の形成、児童生徒の保健管理と保健室経営、課題解決に向け学び続ける姿勢について、学外学習（フィールドワーク）と関連のテーマについて討議し、養護教諭として必要な知識と専門性を形成する。</p> <p>養護教諭として必要な基礎的な知識と専門性の形成に関する以下4項目を理解するため、学外学習と関連テーマの討議、事例検討、ロールプレイ等により学習する。また、「履修カルテ」を活用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教育に対する使命感や責任感と養護教諭の役割 ② 社会性や対人関係・コミュニケーション能力の形成 ③ 児童生徒の保健管理と、計画的・組織的な保健室経営 ④ 教育の今日的課題解決に向けて学び続ける姿勢 <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教育に対する使命感、情熱、責任感をもち、児童生徒の成長・安全・健康を第一に考え、学校保健活動の基本計画を立案し推進できる。 ② 組織の一員としての自覚をもち、教職員や保護者と協力した職務の遂行のためのコミュニケーションをとることができる。 ③ 児童生徒に対する理解に基づき、健康課題を見極め、適切な保健管理を行い、計画的・組織的に保健室経営ができる。 ④ 特別支援教育等、今日の教育課題を的確に把握し、学び続ける教員として将来像を描くことができる。 					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職課程の総まとめの授業であることから、養護教諭としての実践力を高めるよう、これまでに学んできたことの振り返りを行い、学生間の共有財産となるよう積極的姿勢で臨むこと。 ○ 履修カルテ、養護実習履修簿、レポートを読み返し、自己の課題を明確にしておくこと。 					

成績評価の方法	「履修カルテ」25%、授業（演習）への参加態度 25%、発表 50%とし、総合して評価する。
テキスト	・大谷尚子・中桐佐智子編著、「改訂 養護実習ハンドブック」、東山書房、2015
参考図書	「改訂 学校保健」（徳山美智子・中桐佐知子・岡田可奈子編著、東山書房）
備考	<p>養護教諭一種免許状取得に必要な選択必修科目（養護概論、学校健康相談）の単位を取得していることが前提条件となる。養護実習事前事後指導、養護実習と合わせて履修すること。原級留め置き、または、仮進級となった場合は本科目を履修することはできない。</p> <p>教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。</p>
授 業 計 画	
第1回	<p>：授業概要の説明と課題提示。</p> <p>養護実習と教職・養護に関する科目学習全体をグループ討議によって確認する。</p>
第2～4回	<p>は、養護実習の振り返りを行い、養護実習の目標をもとにグループ内で事例検討や模擬授業を行い、自己にとって何が課題であるかを自覚し、各自の成長課題を見出す。</p>
第2回	<p>：養護実習の振り返り（事例検討）</p> <p>○児童生徒に対する責任や対人関係能力について、実習中のエピソードを基にグループで事例検討を行う。</p>
第3回	<p>：養護実習の振り返り（事例検討）</p> <p>○養護教諭の職務の重要性について、実習中のエピソードを基にグループで事例検討を行う。</p>
第4回	<p>：養護実習の振り返り（模擬授業）</p> <p>○実習中に行った保健指導について、各自の指導案を基に模擬授業を行い検討する。</p>
第5～8回	<p>：学外学習（フィールドワーク）</p>
第5～8回	<p>は、特別支援学校もしくは特別支援学級を訪問し、フィールドワークを行うことによって、特別支援教育の実際について理解する。詳細については適宜周知する。</p>
第5回	<p>：訪問学校の校舎内外の見学と授業参観（フィールドワーク）</p>
第6回	<p>：訪問学校の学校長講話</p>
第7回	<p>：訪問学校の保健室観察（フィールドワーク）</p>
第8回	<p>：訪問学校の養護教諭による講話</p>
第9～12回	<p>は、職員会議を想定したシミュレーションやロールプレイを行うことによって、計画的・組織的な学校保健管理及び保健室運営について理解する。</p>

第 9 回 : 企画案作成 (グループワーク)
○資料を基に健康課題をアセスメントする。

第 10 回 : 企画案作成 (グループワーク)
○課題解決のための具体的方策を検討する。

第 11 回 : 企画案作成 (グループワーク)
○企画案発表のためのシミュレーションを行う。

第 12 回 : 企画案作成 (ロールプレイ)
○企画案の発表と評価を行う。
養護教諭役、担当役、管理職役等を設定し、養護教諭が職員会議において企画案を提案する際の説明、質疑応答を体験する。

第 13～15 回は、各テーマについて、本授業の振り返りシート及び「履修カルテ」を活用し自己評価と他者評価により今後の課題を明確にする。

第 13 回 : まとめ
○企画力、表現力、指導力等に関する発表とディスカッションを行う。

第 14 回 : まとめ
○養護観、教育観に関する発表とディスカッションを行う。

第 15 回 : まとめ
○めざす養護教諭像に関する発表とディスカッションを行う。